

編集後記

『芸術世界』第20号には7点の論文と7点の作品が寄せられた。全学科ダブルキャンパス化に伴って業務負担が増したにもかかわらず、例年以上に充実した紀要となった。投稿してくださった方々に感謝申し上げたい。

今号の表紙は長年にわたって本学に貢献され、学部長として重責を果たされて今年度で退職される内藤明先生にお願いした。紀要の表紙はそのまま芸術学部の歩みと重なる。毎号の表紙を通観してみると、芸術学部がいかに多様性を増し、発展してきたかを実感することができる。

今回も一部の査読者から厳しいご意見やご助言を頂戴した。しかし、そのおかげで『芸術世界』が、発表の場であるばかりでなく、すぐれた修練の場としても機能していると考えている。より完成度の高い論文や作品を掲載することができたことは、編集に携わる者として喜ばしい限りである。ご多忙の中、査読を快くお引き受けくださった方々にも、心から御礼申し上げます。今後も紀要が有意義な研究活動の場として役立つように、一層の努力を重ねていきたい。

平成26年2月 紀要編集委員長 鈴木 万里

芸術世界

東京工芸大学芸術学部紀要 Vol. 20

2014年3月31日 発行

編集 東京工芸大学芸術学部
紀要編集委員会

発行 東京工芸大学芸術学部
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5
Tel. (03) 3372-1321
Fax. (03) 3372-1330

印刷 有限会社 啓文堂 松本印刷
東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12